# 天地人

宇都宮商工会議所会報
1996-1/10 VOL.388
発行所 宇都宮商工会議所
〒320 宇都宮市中央3-1-4
☎ 028-637-3131
FAX 028-634-8694
編集兼発行人 日向野 三郎
印刷所（株）松井ピ・テ・オ・印刷
会員の購読料は、会費に含まれています

主な内容

年頭所感 藤井会頭・渡辺知事・増山市長……1頁
日商稲葉会頭・当所日向野専務理事……2頁
'96はどうなる景気展望……3頁
委員長・部会長今年の抱負……4～5頁
歴史と文化香る心豊かな街づくり うつのみや再発見事業‥6～7頁

# 地域連携から新たな時代の創生へ

栃木県商工会議所連合会会長
宇都宮商工会議所会頭

## 藤井　清

穏やかな新春の日差しの中で、皆様とともに新しい年を迎えられますことを心からお慶び申しあげます。

昨年は、年初の阪神・淡路大震災やオウム真理教事件といった社会を大きく揺るがす出来事が続出し、危機管理体制の整備を改めて問われる年でありました。

その中で、全国513の会議所が組織を挙げて迅速に地域復興へ取り組まれましたことは大変心強く感じ、ご尽力いただきました会員各位に対しまして心から感謝申しあげます。

さて新しい干支を迎えた日本経済でありますが、依然として円高や国内産業の空洞化、消費マインドの低迷等により回復基調に乗らず、それが雇用不安の増大をもたらすなど、引き続き厳しい情勢にあります。

日本の持つダイナミズムを引き出すためには、規制緩和等の構造改善、金融・資本市場の活性化、土地の流動化対策を含めた切れ目の無い政策が不可欠でありますし、とりわけ経済活動の源泉であります中堅・中小企業における経営環境の改善は、最重点課題として取り組む必要があります。

また、中心商業地の振興や都市再開発等の都市活性化事業も、不況対策を視野に入れる中で、商業・観光・文化都市づくりへの多面的な施策の展開が強く望まれております。

街の歴史的資源や文化の発掘、新しい都市観光の創出等により地域の個性を最大限に引き出す事は、賑わい性を回復し他地域からの流入を促すことで多大な経済的効果が期待出来ると考えております。

当所で推進している「うつのみや再発見事業」の狙いも、都市活性化対策事業の一つであります。

宇都宮の父祖である二荒山神社と宇都宮城址を街の主軸として位置づけ、市の発展過程を歴史軸として辿りながら商業祭や流鏑馬を復興した一大イベントを展開し、中・長期的には大谷地域を始め市の全域において「新しい賑わい」を創出し、都市の再生と文化の興隆を推進することにあります。

さらに旧臘には政府の国会等移転調査会において最終報告が打ち出され、今後2年程度で候補地を選定して今世紀に着工、10年後に新首都での国会が開会されることとなっております。

我が栃木県も有力な候補地を有し、渡辺知事をはじめ県民挙げての誘致運動を展開しようとしておりますが、当然宇都宮市は母都市としての高次な機能を持つ都市への変容が期待され、テクノポリス地域の一層の充実や、JR駅周辺での開発促進、そして新都市交通の導入等、急速な地域開発が進行することは自明の理であります。

私ども産業界は現下の厳しい状況に置かれておりますが、このような時こそ発展の機会を模索し、その時代に即応した対策を的確に実行することが肝要であります。

商工会議所といたしましても、組織の全機能を充分発揮し「行動と連携」をスローガンとして、行政当局や関係機関と密接な機能を図りながら、次世代の栃木県、県都宇都宮の街づくりに邁進していく所存であります。

以上、新年にあたりまして所懐の一端を申しあげましたが、会員の皆様並びに関係各位の悠久のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

新幹線「なすの」が新設され、増発を祝う

21世紀の都市像を視野に、県都宇都宮への有形無形の経済波及効果が期待される。

# 21世紀視野に県勢の飛躍を期待

栃木県知事

## 渡辺　文雄

皆さま、明けましておめでとうございます。

今年も皆さまとともに、新しい年を迎えることができましたことを、心からお喜び申しあげますと共に、私自身、4年の任期の仕上げの年を迎えるにあたり、県勢発展のため全力をあげて傾けていかねばならないと決意を新たにしたところです。

我が国の経済は、昨年春の急激な円高の進行により穏やかながら回復基調で推移したものが足踏み状態となり、弱含みで推移しているほか、産業の空洞化も懸念されております。

県におきましては、厳しい財政状況下ではありましたが、公共事業の積極的な導入、県単独の建設事業の大幅な増額、中小企業の経営安定のための金融対策の拡充を図ってまいりました。

また、産業構造の変化に対応し、企業の新規事業の育成支援を促進する必要があると考え、新たに民間ベンチャーキャピタルを活用し、創業間もない企業の社債や株式の取得など、資本調達環境の整備として創造的中小企業創業支援事業を創設することといたしました。

本年は、いよいよ目前に迫った21世紀への橋渡しとなる「とちぎ新時代創造計画3期計画」の第一歩を踏み出す極めて重要な年となります。この3期計画では次の世代のために残したいものは何か、創りたいものは何かということをよく考えながら、県民1人ひとりが真に豊かさを実感できる「希望と活気にみちた、心豊かなふるさと"とちぎ"の創造」をめざします。

そして、生涯学習の推進や教育・文化の振興、高齢化対策や子育て環境づくり等に対応した保健・医療・福祉対策の推進、下水道や道路、公園等の生活環境の整備、産業の活性化等の諸課題に積極的に対応しながら、21世紀における本県の大きな飛躍の基礎を築いてまいりたいと考えています。

また、本年は、かねてより整備を進めてまいりました宇都宮外環状線が3月に全線開通するのをはじめ、「とちぎ健康と生きがいの森」、「とちぎ女性センター」、「県北体育館」などの県民利用施設が完成いたします。

なお、首都機能移転につきましては、昨年12月に国の国会等移転調査会から最終報告が出されたところであり、県民の皆さまにご理解をいただきながら、全県的な誘致運動となるよう取り組んでまいりたいと考えています。

私たちを取り巻く今日の社会経済情勢は、国際化の進展、環境に対する意識の高まり、人口の高齢化や少子化の進行、高度情報化や価値観の多様化など大きな変化の時代を迎えております。商工業の振興につきましては、現在の厳しい経済状況の中、本県産業がたゆまぬ発展を遂げるため、創造計画3期計画の部門編として産業振興のためのビジョンを策定し、その着実な実現に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、県民の皆さまとの対話を大切にしながら、このすばらしいふるさとをさらに価値あるものとして次代を担う子供達に引き継いでいけるよう、全力を尽くす考えでありますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申しあげます。

# 市制100周年契機に新しい街づくり推進

宇都宮市長

## 増山　道保

謹んで、新春のごあいさつを申しあげます。

昨年は、関係各位のご支援のもとに、身近な生活環境や都市基盤整備の着実な進展をはじめとして、第10回国民文化祭やジャパンカップサイクルロードレースの開催など、主要な事業を順調に進めることができた実り多い年でありました。

さて、本年は、本市にとりまして市制100周年、中核市への移行という記念すべき年であります。この節目の年に、農林公園や平成記念子供のもり公園をオープンさせるとともに、ワールドカップサイクルロードレース大会の開催をはじめ市民の皆様のご参加をいただきながら、全市をあげた記念事業を実施し、市民の皆様とともに市制100周年を祝いたいと考えております。

また、これまでの本市の歴史を振り返り、今後の新しいまちづくりを進める契機にもしたいと思っています。

こうした、新しいまちづくりの機運の高まりを踏まえながら、本年は、21世紀に向けたまちづくりの基本方向を定める第4次総合計画の策定に本格的に取り組んでまいります。

更に、中核市の指定を契機として地方分権を推進し、市民に身近な行政運営を行い、今まで以上にきめ細かな行政サービスが提供できるものと確信しております。

このため、簡素で効率的な行政体質の確立を目指し、なお一層行政改革を推進していきたいと存じます。

この他、懸案となっております競輪場の移転や、新清掃工場の建設に積極的に取り組むとともに、市民に密着した老人保健福祉計画の推進や下水道の整備なども引き続き重点的に進めてまいります。

財政的には、厳しい状況にありますが、ゆとりと豊かさが実感できるような宇都宮づくりに向け、今年も一層努力してまいりますので、皆様には倍旧のご支援をお願いいたします。

# 攻めの経営への転換を
## 中小企業の活性化策支援

日本商工会議所
会頭　稲葉　興作

平成8年の新春を迎え、謹んでお慶びを申しあげます。

昨年を顧みますと、年初より予期せざる出来事が相次ぎました。社会面では阪神・淡路大震災、サリン事件が発生し、経済面では戦後最高値を更新するような急激な円高やバブル崩壊に伴う不良債権問題が尾をひき、景気回復への足取りを鈍らせ、国民生活全般に大きな影響を及ぼしております。幸い、わが国経済は昨年後半から円相場の相対的安定や第2次補正予算の成立により、最悪期から脱却した感はあるものの、景気は依然として一進一退の状況で推移しているように感じられます。中小企業の方はこれまでも絶えざるコスト削減やリストラなどに努め、わが国経済の活力の源泉としてその役割を果たしてまいりましたが、日本の産業が活力を維持していくためには、大企業はもとより中小企業経営者の方々こそが、自らリーダーシップを発揮し新たな技術・新製品の開発や、新規産業分野の発掘・参入などを担うベンチャー企業として、持ち前の機動力を活かした企業経営を進めていくことこそ不可欠かと存じます。

他方、近年、わが国経済の国際社会における影響力が高まる中で、その責務はますます増大しており、諸外国との良好な通商関係の維持・発展を目指すわが国としては、多角的自由貿易体制の堅持への貢献が欠かせません。そのためには、市場開放の推進を図りつつわが国経済の構造改革に全力をあげて取り組み、諸外国との相互理解と信頼の増進を図っていかなければならないことは言うまでもありません。こうした点から昨年11月に開催されたAPEC（アジア太平洋経済協力会議）大阪会議において、わが国のリーダーシップによる貿易・投資自由化の為の「行動指針」が取りまとめられましたことはこれに弾みをつけるものであり、今後とも積極的な国際社会との係わりへの取り組みが望まれます。

もちろん商工会議所といたしましても、日本外交の基軸である日米関係の最重要性に鑑み、昨年秋、訪北米経済ミッションを派遣し経済界の方々との対話を通じ相互理解を深めるほか、20余に亘る2国間・多国間交流の場を通じて民間経済外交を積極的に推進してまいりましたが、今後ともこうした活動を通じ、海外との交流の推進や、企業の海外展開、技術移転の促進に寄与してまいる所存です。

今や、わが国が政治・経済両面において歴史的転換期にある中で、地域総合経済団体である商工会議所への期待と役割も、日々変革しつつ増大しております。

私どもは従来から、商工会議所相互の連携強化や組織・財政など活動基盤の整備を進めてまいりましたが、今後とも変貌する地域の態様や商工業者のニーズに応える活動を進めていきたいと考えております。

本年も全国513の商工会議所が一丸となって、その使命達成のため取り組んでまいる決意でありますので、皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願い申しあげます。

---

新時代創造

# 広域化視野に歴史と文化が薫る県都の街づくり

宇都宮商工会議所
専務理事　日向野　三郎

君がため　春の野に出でて　若菜つむ
わが衣手に　雪は降りつつ

この和歌の作者は、和歌の復興機運を芽ばえさせた光孝天皇であります。

早春の山野でセリ、ナズナなどの若菜をつむ風姿がうかがえ、新年の清々しさを与えるとともに、七草粥等の趣を想い出させてくれる和歌でもありましょう。

この和歌は「小倉百人一首」の中の一首ですが、この「百人一首」の源が、宇都宮であったことを知る人は多くないようです。

宇都宮城主は鎌倉幕府の要職にありながらも、地元宇都宮の「市の繁栄」策を幅広く打ち出すなどして、商業都市の確固たる礎を構築していきました。さらに七代目城主貞綱公は、蒙古襲来の際の日本側の総大将として指揮にあたった勇将・智将の名君でもありました。

宇都宮は遠く平安の御世から、二荒大明神（宇都宮大明神）の門前町として、また宇都宮家二十二代五五〇年間の長期治世は武家の町・商業の町づくりを目指して、大都市整備を推進してきております。特に江戸期に入ってからは、初期の城主本多正純公によって城郭や商業地・街道整備等に社会資本が大量に投下され、公共事業の大規模な展開によって城下町の風格が整い、現在の宇都宮市の都市形態の原形が整備されたわけです。

このように見てまいりますと、宇都宮には他の市町村には持ち得ない、素晴しい財宝が眠っております。父祖の足跡を掘り起し、現在商業特化によって空洞化しようとしている都心部に、歯止めをかける必要があります。

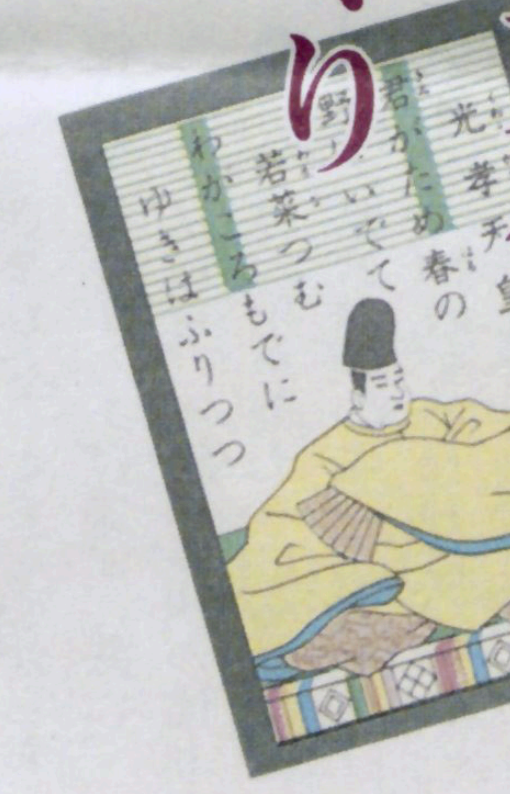
当所の進める「うつのみや再発見事業」は、こうした財宝を有効に現在と未来に活かして、「宇都宮都市いきいき対策事業」として展開しようとするものです。

戊辰戦争や第二次世界大戦による戦火で上物（施設の類）は消失したとはいえ、その都市の文化や心までも亡失してしまったとは思えません。繁栄往時の文献は、必ずどこかに眠っていると確信しております。宇都宮のシンボルは、関東の名城の名残り・足跡の一端を表現することによって現実化するのです。これらの再生こそが、宇都宮に「うるおいとやすらぎ」をもたらす起爆剤となると考えております。

宇都宮はこれからも、「他の市町村の目標設定の位置に常にあること」が必要でありましょう。

このことは、商工会議所についても同様のことであります。

県商工会議所連合会と連携を図りながら本県経済界のまとめ役として、また、県内幹事商工会議所としての役割・機能を常に保有していくという使命感を、役職員が一体となって持つことが肝要だと考えております。


光孝天皇
君がため春の野にいでて若菜つむわが衣手にゆきはふりつつ

申すまでもなく、我が国の国際経済における位置づけは、大きく変化しつつあります。環太平洋地域においては、産業基盤整備と産業集積が急速に進展しており、国際分業構造に組込まれた我が国経済は、21世紀へ向けて円滑な産業構造の転換が迫られております。

また我が国は、今後国際経済の中で最大の発展が予想されるアジア地域に属するという地理的優位性があり、労働力の質量、セキュリティーの面でも優れた可能性を有しており、その潜在的ポテンシャルは極めて高いともいえます。

しかしながら、我が国経済の枠組みを構成する諸要素も、大きく変化しつつあることも承知せねばなりません。まず、就業構造は第三次産業比率が今後とも増加することが見込まれており、特に製造業内の第三次産業的要素がなお一層重要性を増していくということであります。また、製造業の高付加価値への一層のシフト、技術革新・情報化の進展や、新規・成長分野の拡大の動きなどが見られます。さらに、交通インフラ整備とモータリゼーションの進展は、産業活動や国(県)民生活の広域化をもたらし、従来の施策や行政体系等を広域的視点から見直すことが必要になってきております。依然にも増して、行政や関係団体との密接な連携が望まれております。

就任早々に、藤井会頭と「宇都宮のよさ」の問答を幾度となく繰り返してきました。その結論が、「うつのみや再発見事業」であり「都市観光による商業文化都市再興宣言」であります。

自然景観のみならず、歴史や文化等の素材を生かした都市観光は、地域の経済と文化を活性化させ都市振興に寄与するものといえます。観光は21世紀の経済社会の発展の核となりうる重要性を有しており、県(市)民生活にも不可欠なものになってきております。

宇都宮の経済構造を安定的なものとし、新しい発展を創出できるものの一つとして都市観光産業を位置付け、都市観光の力を活用し宇都宮の振興を図る必要があります。そのためには、従来の地域との触れあいの少ない観光施設への閉じ込め型観光サービスから、その地域の持つ歴史・文化・伝統、そして住民らとの触れ合いなど、宇都宮の素顔をより多く見せる地域ぐるみ型観光サービスを、形成していく必要があります。

現下の不況時であればこそ、こうした視点に立脚し異業種間の連携を取りながら、宇都宮全体が総ぐるみとなって『新生宇都宮』づくりをめざす宣言をすることが、「市制100周年」を迎える年頭に相応しいものと確信しております。

皆々様のご理解とご協力を、お願い申しあげますとともに、ご意見等をぜひ拝聴させていただきたく、お待ち申しあげております。

「宇都宮の21世紀は、市民の手づくりによって…」をキャッチフレーズに、皆さん前進してまいりましょう。

---

## 明けましておめでとうございます

皆様のご繁栄ご多幸を
お祈り申し上げます

宇都宮商工会議所
役員・議員一同

---

●講師歴30年●　●日本全国指導●

**選び抜かれた超一流の講師陣**

格安料金

昼間・夜間を問わず講師を貴社に派遣します

考え方が変わる・社員が変わる・行動が変わる・企業が変わる

《教育・研修なら短期間で最大な効果があがる》

★やる気マンマンの社員を育てあげます。
★目標達成に執念を燃やす社員をつくります。
★礼儀作法（マナー）を身につける美しい社員にいたします。
★計画性と実行力が伴なう幹部に育てあげます。
★数字で対話ができる優秀な幹部にいたします。
★部下の指導が適切にできる幹部を育てます。

通産省許可・通産大臣登録・栃木県知事登録

経営コンサルタント（商業・工業・建設業）
教育コンサルタント（後継者・管理者・社員）
TQCコンサルタント（小集団活動活性化）
マナーコンサルタント（心構え・電話・応待・礼儀）

大垣壽雄
黒川秀夫
斉藤文吉
鈴木秀夫
鈴木友吉
高橋豊
高橋洋子
中山和夫
藤垣学
（アイウエオ順）

**日本経営指導協会**
〒321 宇都宮市陽東1丁目17番6号

お申込みと資料の請求は
TEL (028)662−1999（代表）
FAX (028)662−5588（昼夜）

**Fashionable Uniform AOSHO**

アオショーのユニフォームは企業イメージを高め、社内の
活性化を進め、機能的で着心地の良い商品です
企業戦略として、まずユニフォームから考えてみませんか
アオショーは新しい時代の企業ユニフォームを提案致します。

オフィスユニフォーム・ブレザー
ホテル・レストランサービスウェアー
パーラー・アミューズメントウェアー
イベント・オリジナルユニフォーム
ワーキング・理美容ユニフォーム
調理、病院、学校、食品工業白衣etc

株式会社アオショー
ユニフォーム事業部（本社・ショールーム）
宇都宮市鶴田町1544-3（センチュリーへいあん隣り）
☎(028)648-8888(代)　FAX 648-8883
フリーダイヤル 0120−488887

---

# '96はどうなる 景況展望

## 寿司の大衆化

元気寿司㈱
代表取締役会長　齋藤　文男

個人消費の低迷が続く中にあって外食産業もまた、この1年来客数の減少化傾向が進みました。低価格路線への変更等、各社各様に対策を講じてはみましたものの、収益は伸び悩んだという結果となりました。この様な状況下で当社は客数の拡大に向けて、昨年18店舗の新規出店を行いました。既存店の売上を堅持しつつ、新たに出店拡大を続けて行くということが当社に課せられた使命と考えておりますが、お陰様で多くのお客様にご支持をいただき、業績もほぼ順調に推移しております。当社の企業理念の「寿司の大衆化」を図るべく、本年もまた15～20店舗の新規出店を計画しております。しかし、取り巻く環境は、昨年にも増して厳しく余断は許されない状況にあると認識しております。同業者との競合はもとより食品製造業（メーカー）や食品小売業（スーパーマーケット・コンビニエンスストア）と三つ巴の正に「胃袋の取り合い」とでもいうべき競争状態が、更に激しくなることと思われます。その意味でも昨年4月から実験的に始めました「寿司の宅配」業務も、漸く宇都宮のほぼ全域をカバーできる仕組みとなりましたので、今年から本格的に稼働いたします。

また、海外においてはハワイ店の他、フランチャイズでシンガポール・香港・マレーシアに5店舗展開しておりますが、更に「元気寿司」のマークを世界に広げて行きたいと考えております。

日本の伝統的なお寿司を気軽に誰もがいつでも召しあがって頂くという、今年も回転寿司の原点に立ち返り、お客様の満足の行くお寿司を提供してまいります。

---

## パークアンドバスライドに期待

関東自動車㈱代表取締役社長
常議員　保坂　正次

若い女性に好評の「とちの木号」

数年前から続いている国内の景気低迷は、バス業界にも影響を及ぼし、当社においても2年前まで増加していた乗合バスの利用者がその後減少しております。これは不況により企業の雇用調整などから、バス通勤者が減少していることが大きな要因となっています。

当社では、このような状況の中でご利用頂く皆様に、よりよいサービスを提供し、少しでも多くバスをご利用頂けるよう努力を重ねております。

平成5年6月には近県に先がけて、バスカードを採用したのをはじめ、宇都宮市内での深夜バス運行などに取り組んでまいりました。

このような施策にも拘らず、乗合バス利用者の減少が続いていることから、新たな活路として高速バスの拡大に努めました。丁度6年前、1日4往復運行していた宇都宮～成田空港線（マロニエ号）を平成6年11月から1日6往復に増発しました。折からの海外旅行ブームを反映して、その後も利用者が増加を続け、昨年8月には1ヵ月間に1万人余の方がご利用されました。また昨年7月には夜行高速バスとして、宇都宮・栃木～大阪線（とちの木号）を1日1往復運行を開始しました。片道約680km、所要時間6時間50分という長距離バスが、新幹線と競合する中でどの程度の利用が見込めるか、実際運行するまでは不安がありました。しかし8月中には夏休みやお盆休みがあり、日によっては2～3台運行するなど予想を上回る利用状況で、定員28人乗りのバスに現在まで平均約20人のご利用を頂いております。宇都宮を夜9時30分に出発し、翌朝7時20分に着き「目が覚めれば大阪」とレジャーやビジネスにご利用頂いております。ご利用者の声を聞いてみると、夜間利用できることと、快適で運賃が割安なことなど、特にヤング層に好評です。とちの木をデザインした「とちの木号」が毎日大阪市内を走ることは、本県のPRとイメージアップに一役かっているものと思っております。

しかし当社にとりまして、主幹はあくまで乗合バスにより、公共交通機関としてその使命を果していくことに変りありません。しかしこれからのバス事業運営には多くの課題を抱えております。これらの問題はバス事業者だけでは解決できないものが多く、行政面の強い指導が是非とも必要です。

一例をあげれば、宇都宮市内の交通渋滞は当社にとっても大きな問題ですが、一事業者だけではどうすることもできません。昨年11月に3日間、国道123号線（水戸街道）で実験が行われたパーク・アンド・バスライドは画期的な交通システムとして、当社としても大きな期待と関心を持っています。このシステムが実用化されるまでには、多くのクリアしなければならない問題がありますが、関係機関の指導と一般市民の理解と協力により、一日も早く実現できる日を待ち望んでおります。いろいろな機会にモノレールなどの新交通システムの是非が論ぜられていますが、仮にモノレールが実現しても、都市交通問題の総てが解決されるわけではありません。既設道路を最大限に活用し、都市機能回復とエネルギー・公害・環境問題などの観点からも、パーク・アンド・バスライドが適切なシステムと考えております。同時に今回の実験を通して、今後バス交通の役割がより重要になっていく責任の重大さを痛感しております。

---

## 今こそ起業精神と競争本能を呼びさまそう

商工中金宇都宮支店　支店長　国貞　良雄

平成7年度を概観して、以下キーワードを選んでみました。

①阪神・淡路大震災、②社会的凶悪犯罪多発、③急激な円高とその修正、④史上最低の公定歩合、⑤金融機関の倒産と、海外での不祥事による信用低下、⑥14兆円余の経済対策、⑦失業率悪化、⑧価格破壊、⑨空洞化、⑩アジアの繁栄、といったところですが、総じて景気は金融・財政面で、種々の対策を講じた割には目に見える程の好転はなかった、と言えると思います。

さて、今年はどうでしょうか。社会・政治情勢は別として、純経済活動の面だけで言えば①先行き所得・雇用に対する不安から、個人消費の伸び悩み、②住宅投資は、金利低下効果もあって、減少に歯止めはかかるが増加見込みは薄い、③民間設備投資は、設備ストック調整の一巡、長期金利の大幅低下から若干の増加期待はあるが、景気を引張る程の勢いはない、④公共投資は大型経済対策の効果から高水準維持、⑤輸出鈍化、輸入増勢、ということが現在の動向から考えられますが、総じて当面の景気は公共投資に支えられる形での極めて緩やかな回復に止まるものと思います。

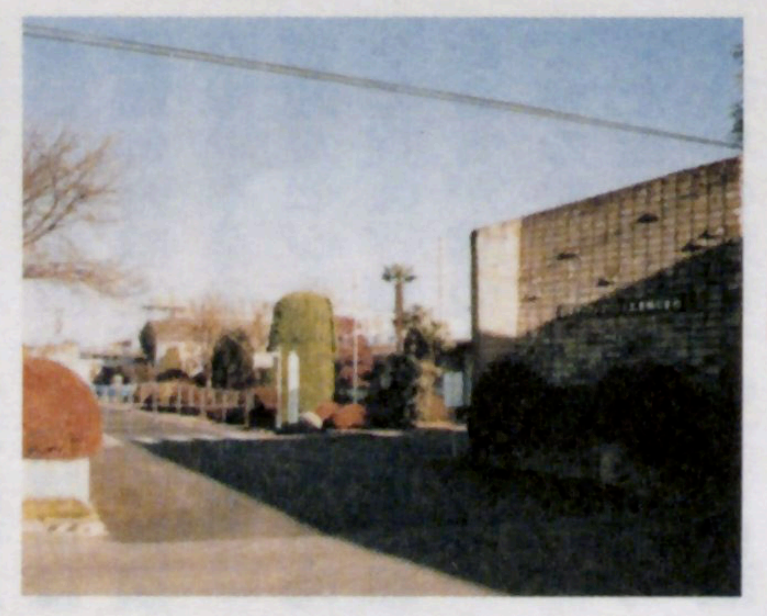
以上はマクロ経済動向でして、個々の企業ではマクロの動向にかかわらず、起業精神と競争本能を発揮され、積極果敢な経営に取り組むべきと思います。

当金庫も中小企業専門金融機関として、企業の様々なニーズに応えていきたいと思います。今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

---

## '96年の化学産業の展望

日本サーファクタント工業㈱
代表取締役社長　島田　正重



我社が属する化学産業は間口が広く、全領域を展望することは困難であるので統括的に眺めてみると、バブル経済崩壊後の景気低迷を脱し、石油化学を中心に回復基調を取り戻しつつあったが、前年の急激な円高の進行定着化の流れを受けて、再び構造的な問題に直面しています。

自動車・家電・電子産業という日本経済の牽引役を果たしたユーザー産業が海外へ生産シフトを強めるなど、産業の空洞化が着実に進み、一方国内では末端製品の低価格化競争が激しくなり、安値海外品の手当てをはじめ、値下げ圧力が強まるなど価格破壊現象まで出て来ています。この様な状況の中で、化学各社は生き残りをかけて徹底したコストダウンを実施し、リストラクチャリング・リエンジニアリングを進めることで収益力を確保する一方で、グローバリゼーションの一環として、海外進出計画が進行しています。

アジアの石化製品市況が軟化しているほか、国内市場も土木・建設・各種産業資材を中心とした需要が伸び悩んでいて、好材料がなく足踏み状態で調整局面が継続する年になりそうであります。

化学産業は、色々な産業分野と国民生活の中に深く根をおろし重要な役割を担っており、多様なニーズを受けて「選択と集中」という経営戦略で、力強く発展していくことを期待しています。

---

## 人気車が勢揃い顧客第一にサービスメニューを提供

トヨタカローラ栃木㈱
代表取締役社長　喜谷　辰夫

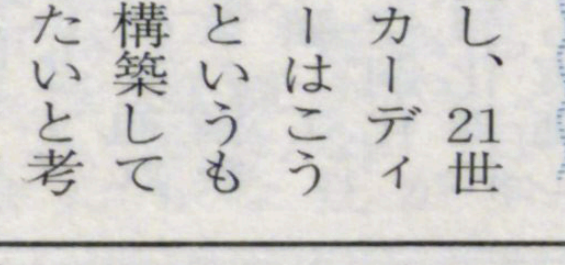
昨年の自動車市場は、なんとか前年を越え、回復傾向にあるといえます。しかしその伸びは大きなものではなく、また自動車市場も構造変化しており、販売店を取り巻く環境はなかなか厳しい状況が続いております。

一つは、一般のセダン型乗用車主体の市場からワゴン、4WD等のRV車市場への移行です。また、なかでもスポーツユーティリティ車、ステーションワゴン等、今までに無かったジャンルの車が大きく伸びており、自社の扱い車にどれだけ人気のある車を持っているか、いないかが大きく販売に影響します。

もう一つは自動車の制度面の変化で、車検制度の改定をはじめ、自動車部品・用品の今まであった様々な規制が簡略化あるいは廃止され、車の販売だけでなくサービス面にも競争激化が生じています。

当社は自動車販売会社として利益をあげ、健全経営を行なうには商売の原点に戻り、「お客様第一」を忘れずに今の時代、これからの時代に合った販売方法、サービスのメニューを作り提供し、21世紀のカーディーラーはこうなるというものを構築していきたいと考えています。

社員一同、更に研鑽を重ね努力をしていく所存であり、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



---

## CS（顧客満足度）向上に徹した営業推進

日本団体生命保険㈱
宇都宮支社長　霜田　次夫

平成7年は、超低金利でも資金需要はおこりませんでした。大型景気対策をいくら打ち出しても景気は回復せず、リストラの影響で中高年は減給や職を失い、新卒者は就職難と日本経済は重症であります。

しかしながら、前年後半から株価・円相場とも堅調で、僅かながら個人消費もプラスに転じ、残りは民間設備投資が増加に転じることを期待するところですが従来の日本型経済システムの変革と規制緩和が急務と思われます。

生保業界は超低金利の中で、資産運用面で厳しい環境にありますが、営業面においては順調で、各社共、商品開発をはじめ販売体制の変革、余剰人員のスリム化、資産運用の改善など、必死に経営の改革に取り組んでいます。

平成8年4月には、保険業法が56年ぶりに大改正・施行されます。生損保相互参入で激しい競争が予想されると同時に、営業の質が問われる時代になりました。当社は、全国の商工会議所・商工会の会員事業所を対象に共済制度の推進を図っていますが、今後もその専門会社として、又、特化型生命保険会社として、地域に密着し加入者の多様化・高度化するニーズに対応しうる高資質社員の育成と顧客満足向上に徹したコンサルティング・セールスを推進していきたいと考えています。

今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

---

## 独自性活かした経営戦略を

みやみらい21
会長　益子　晟
㈱日成メディカル代表取締役

みやみらい21は、商工会議所の異業種交流会のOB会であります。今年で10年になります。平成8年は、どういう年になるでしょうか。

我が国は今まで雇用機会を拡大する高い経済成長、生産性の低い産業、企業を保護する数々の規制と閉鎖的市場が、雇用の確保に寄与してきました。その上に日本的経営が成り立って来たように思います。

ところがバブル崩壊後、景気の長期低迷が続き、規制緩和と市場開放の動きが進む中、激化する市場の競争を乗り切ろうと、中高年の雇用調整、年功賃金の修正、福利厚生の合理化など人件費削減に取組み、日本的経営の見直しを行いつつあります。

みやみらいは、今までも異業種交流をおこない、相互の企業の活性化をはかってきました。今年は、①経営者の資質の向上を目指して経営計画の策定・方針の決定を行い、発表会を行います。②会社を実際に動かすのは幹部・管理者であるので、幹部養成研修、マネージメントゲーム、先進企業視察、交流会をおこないます。困った事が起きると、メンバー全員が相談に乗り、それぞれのブレーンとして腹を割って話し合い、耳にいたいことも言い合います。

会社が発展していくためには、自社の経営資源を見直し「我が社は何業か」再点検し、今こそ自社の独自性を活かした経営戦略を立て、邁進して行こうではありませんか。

# 委員長 部会長の '96今年の抱負 豊かさを地域に築く商工会議所

## 持てるパワーを会議所活性化へ

総務委員会
簗　郁夫　委員長

総務委員会の担当は、会議所運営の基本的部分に関する事項で、重要ですが地味な仕事です。100年の伝統を担いながら、21世紀へ向けて構造的変貌する経済環境に適応し、地域社会の支持を拡充していく為には、会議所もリストラを避けて通れません。2つの小委員会を設けて活動することに致しました。

組織・財務小委員会では、会員組織を充実し財政基盤を確立して、生産性の高い会議所の構築を目指します。自ら競争原理を導入し、絶えず他の会議所や諸経営団体と比較・反省の上、その中で存在感のある内容を満たさねばなりません。

特に情報化社会に対応できるノウハウを会議所自体が蓄積し、データベース・ネットワーク等では会員に対して現場モデルを提供するぐらいの気概で、変身することが必要です。

企画・広報小委員会では、会員のニーズに合った事業を展開すると共に、会議所を内外にアピールする適切な情報発信を目指します。会議所もサービス機関として、創造的マーケティングとコミュニケーションで、会員満足度の改善を図ることが肝要です。

市制100周年を迎え、記念協賛事業を実行することも重要なテーマです。会員や市民に、商工会議所活動を再認識して頂くチャンスです。市と連携しながら、必ず成功させねばなりません。

これらの実現のために、会員の目線で物を見つめ、しかも一歩先を考える、議員及び職員の自己研鑽が必要です。従来の事業の継続性も大切ですが、時代の変化を先取りしトライアル・アンド・エラーを恐れず、チャレンジ精神で新しい事業にも取組む姿勢が大切です。戦略的問題設定能力・戦術解決指示能力・情報収集分析能力等の向上が望まれます。プッシュよりプルへと、意識改革をして頂ければと念願しています。

藤井会頭のリーダーシップのもとで、他の委員会・部会等とも協力し、多様で個性豊かな議員・職員各位のソフトパワーを最大限に引出し、会議所のより活性化に結集できればと思います。

会議所が、より楽しく魅力に満ち、コスト・パフォーマンスの高い行動する会議所として誇れる存在にできたら、というのが委員長としての欲張った夢です。

## 地域国際化を積極推進

国際委員会
出射　聡明　委員長

超円高、日本経済のグローバル化さらには産業空洞化が進む中、地方都市の経済も国際化に目をつぶっては居られなくなってまいりました。

宇都宮市の提携する友好・姉妹都市も5都市に及んでおり、教育・文化・芸術あるいは人的交流が進められ、地方都市の国際化に大きく寄与するものと思います。

当商工会議所も、これらの都市との経済交流、経済人交流に取り組んでまいりましたが、今後は対象を友好・姉妹都市に限定せず、世界の地域経済人との交流を図り、宇都宮経済の国際化に尽力したいと考えております。「売る・買う」に特定せず、「共に学ぶ」スマートな経済人交流の在り方を模索致しますので、会員各位の御指導と御協力をお願い致します。

## 県都宇都宮の街づくり

街づくり委員会
柳田　美夫　委員長

広域関東圏の北部で東北圏と接する本県は、今、首都機能移転論議の中心にあり、県知事はじめ政財界を挙げての一大運動を展開すべく結束を固めています。

地方分権の論議や東京一極集中是正のための機能分化、さらに地域連携の国づくりが真剣さを帯びるにつれ、明快な長期ビジョンに基づく着実な行動計画の策定と、それらの実行が強く望まれるところであり、そのためには各自治体と民間の役割・協調体制が以前にも増して図られなければと考えております。

現下の厳しい社会経済環境のなか、産業間或いは地域間競争が必然的ではありますが、熾烈な都市間競争に優位性を持たせるには、県における広域経済圏の相乗効果を高めながら、本市の潜在的ポテンシャルを発掘しつつ、魅力ある宇都宮都市圏の創造を都市戦略として位置づける必要があります。そのためには、広く行政の枠組みを越えた発想の転換が不可欠であり、大型投資事業の官民の取り組み方や、それら開発利益の確保と各セクターの費用負担のあり方までも言及されなければならないでしょう。

一例をあげれば、都市を結ぶ新交通システムの導入や、市街地における都市再開発の問題があります。都市化した地域での用地取得や合意形成は困難を極めますが、この際、民間の事業採算性を取り入れた「街づくり会社」等の設立も効果的ではないでしょうか。

また、地域活性化のための街づくりは、単に施設の建設や再整備にとどまることなく、地域独自の歴史や文化といった良好な社会ストックとうまく調和した環境づくりが極めて重要であり、「歴史に学ぶ」ことも課題と考えております。

市制100周年を契機として真に北関東の中核市の地位を確立されますよう、商工会議所も全力を挙げて協力いたす所存でございます。

## 部会活動の在り方

情報サービス部会
松本　典文　部会長

部会活動とは何なのか、改めて考えてみようと思い当所部会規約なる書面を一瞥するに、会議所における部会は商工会議所法において会員が営んでいる主要な事業の種類毎に、それぞれの事業の適切な改善発達を図る為に置くと定められており、会員がその意思を直接会議所に対し発表する為にも、極めて重要な性格を帯びているものと思われます。この視点から当部会の現状及び活動状況を考えてみると、遺憾ながら必ずしも部会設置の目的趣旨に合致した運営がなされているとは、言い難いのではないかと思われます。その原因については様々な問題があろうと思いますが、何といっても最大の要因は会員はもとより、役員・議員に至るまで、部会に対する認識や関心が稀薄であることに尽きる様な気がします。又、部会の構成についても問題なしとしません。当部会も分類上、他の何れの部会にも属さない会員をもって組織されたものと言われております。従って、部会員の行う事業が多岐にわたる為、それぞれの事業の改善発達を図るという目的に対して、その具体的活動の集約が大変難しい状態と言えましょう。勿論、分科会の設置と言う手段もありますが、果して細分化した部会の運営が現在の会議所の実態からして可能かどうか甚だ疑問を感じざるを得ません。このように考えてみると、今後部会の運営については部会内に於ての研究もさることながら、会議所執行部も事業活性化の為の基本的な問題として検討すべきではないでしょうか。会議所は組織の性格上、役員・議員を中心とした運営をせざるを得ないものと思いますが、それだけに会員が当面する問題に対してより積極的な方針なり、問題の提起が重要であろうと考えます。ところで、今、当部会にとどまらず会員が当面する問題の一つとして、情報活動にいかに取り組むかが問われていると思います。数年来、情報化時代の到来ということがしきりと言われております。膨大で多岐にわたる情報を集積・処理して知的な活動を有効に拡大させる為、オフコンがあり、パソコンの活用が叫ばれております。従って今後は、各企業がマルチメディア時代にどう対応するか、企業経営にとっても益々重要になると思われます。当部会としては、時代の最先端を行くこの問題をメインに研修を行い度いと考えております。これは単に一部会のこととせず、各部会共通の問題として検討していきたいものだと考えます。

## 経営努力が実を結ぶ年に

企業経営委員会
柳田　美夫　委員長

昨年1年間を振り返りますと、景気は回復過程にあるとはいうものの、回復感はあまり感じられませんでした。また、規制緩和の必要性など日本経済の構造上の問題が表面化したほか、急速な円高の進行など、経営者にとってはかつて経験したことのない厳しい年でありました。そのほかにも多くの事件が起こり、社会不安を招きました。

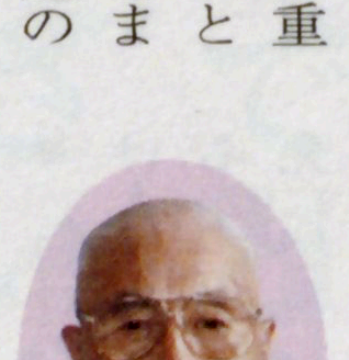
こうした環境の下で、商工会議所の役職員をはじめ経営者の皆様は、並々ならぬ経営努力を続けてきました。そうした努力の甲斐もあって、年の後半からは景気回復の原動力となる設備投資に持ち直しの動きが見られました。また、個人消費も徐々に本格的な回復に向かうものと期待されています。今年は景気もようやく足踏み状態を脱し、今までの経営努力がようやく実を結ぶ年に、なるものと確信しております。

しかしながら、今までのような大きな右肩上がりの成長を期待するのは難しく、経営環境の変化が一層速まり、しかも複雑化していくものと考えられます。例えば、PL法や新食管法が昨年施行されたほか規制緩和も徐々に実施され、今年はその影響が浸透してくるものと思われます。こうした変化をビジネスチャンスとして捉え、前向きに取り組むことが求められているのではないでしょうか。

ただ、現実には経営努力だけでは解決し得ない問題も多く、中小企業の経営を安定させるためにはさまざまな助成措置が必要であると考えております。そのため、今年も引き続き委員会を中心に検討を重ね、全国の商工会議所とともに関係機関への要請をしていきたいと思います。

今世紀も残すところわずかとなりました。短期的な足下の課題にのみとらわれることなく、21世紀につながるような中長期的な視点でも、さまざまな問題を検討していきたいと考えております。

## 中小企業が活躍する年に



一般工業部会
鈴木養之助　部会長

昨年はバブル崩壊の余波を受け、今までにない不況に見舞われ、我々紳士服オーダー業界も他の業界同様でありました。

そのさなかに大自然が牙を剥き、1月17日に関西では過去に例のない大震災に見舞われ、先方の同業組合から救援の依頼を受けるなど大変な騒ぎでした。私達洋服業界では、昔から景気回復は関西からと言われていますので、当分見込みがないと思わざるを得ません。

注文服業界も不況ですが既製服業界も売れ行きが伸びず生産過剰で、多量の在庫を抱えている状況です。大企業が雇用促進に力を入れていただければ、中小企業の皆様も活気が出てくるのではないかと思います。当面する問題も避けて通れませんが、地域産業の振興とたゆまぬ発展を願って、産業構造の変動や空洞化、技術革新や高度情報化等に対応した部会事業も実施したいと思います。

## 余桃の罪と歴史認識の共有

環境衛生部会
田嶋　光男　部会長

中国は、古代春秋時代の話であります。

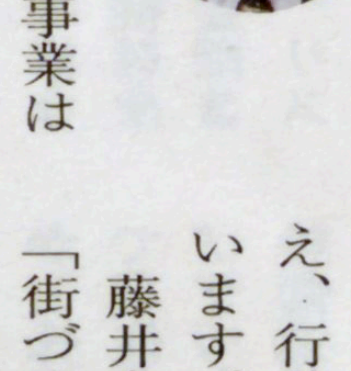
あるところに、君主に男色関係で愛されていた男がおりました。あるとき、男が桃を食べたところ、その桃が大変美味しかったので食べかけの残りの半分を君主に差しあげました。その時君主は、そのことを愛情表現と解して喜びました。が、しかし、後年、男への愛情が衰えたとき、君主は「こやつ、以前に食いかけの桃（余桃）を、わしに食わせおったわ」と言って、その時の事を問いました。これを余桃の罪、といいます。つまり、「食べかけの桃を差しあげた」と言う行為だけでは、単なる物理的状況に過ぎません。それを「愛情表現」とするか、あるいは「非礼なる行為」と解釈して、初めて歴史的事実となるのです。

また、私は青春の頃、感激をもって味わった早慶戦を思い出しました。早稲田では早慶戦と呼び、慶応では慶早戦となります。このことについては、当時から何の違和感も感じませんでした。2校それぞれが早慶戦についての球史を編集するならば、当然、自校中心の球史となりますし、名称それ自体異なる訳だと思います。従ってこんなことからも、独立した主権を持つ国家が、それぞれ違った歴史観を持つことは当然の在り方であり、異なった民族が共通の歴史観を持つことは、至難のことだと思います。特に、1979年に戦争をした中国とベトナム、同民族でありながら金日成神話を報じている北朝鮮と異なる韓国で、共通の歴史観を持つことは不可能だと考えます。我が国の近代史においても、明治政府が前の統治者であった徳川幕府に対して、徹底した否定の姿勢を持って対応したことは、紛れも無い事実です。また、近畿天皇家が、九州王朝を歴史から抹殺したのも当然の手法と言えます。

この様な極端なケースは別としても、同じ物理的現象に対して「余桃の桃」の様に両極端な解釈が成立することを考えれば、それぞれの主観を持つ国家が異なった歴史観を抱き、その間に溝が存在することは当然の帰趨でありましょう。

最近の日韓両国間において、歴史の認識という問題で違和感が生じています。特に、植民地支配にかかわる歴史的認識に溝が生じています。しかしながら、屈辱的なドタバタ劇の短絡的な思考はもうやめて、大人の相互理解、つまり「お互いに、歴史認識の違いを認め合う寛容さと、立場を尊重し合える謙譲のこころ」を持つことによって、もっと両国間がなめらかに、近隣のお付き合いが出来るよう期待をいたします。

## 歴史の中に学ぶ

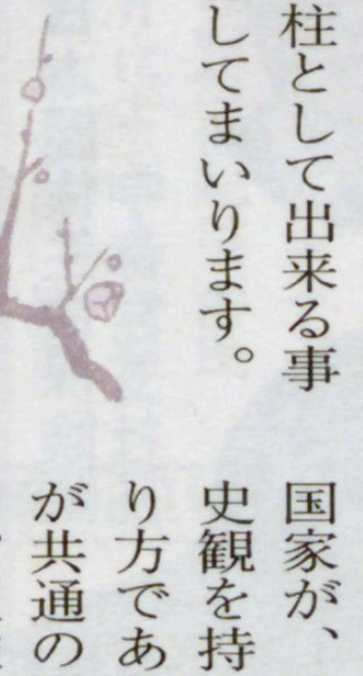


青年部
中島　理　部長

うつのみや再発見事業は昨年10月に、〝杜の宮・うつのみや・今こそ宇都宮ルネッサンス〟「うつのみや再発見シンポジウム」を開催し、青年部諸兄の努力によって見事にスタートいたしました。

まちにはそれぞれの歴史があり、日本の歴史の中で輝いた時代があります。北関東の中核都市「宇都宮」の歴史を再認識しながら、国際性、先進性、文化性、解放性、創造性のポテンシャルをどう高めるか?。これを契機に誇れる街づくり、次の時代にも間違いなくつないでいける街づくりを考え、行動していきたいと思います。

藤井会頭がよく私達に、「街づくりは、余所者と若者とバカ者がいなければ出来ない」と話してくれますが、青年部はこの3つとも保有して条件にピッタリです。少なくとも私達が頑張れば、地域の新しい街づくりの推進役にはなるだろうし、次の代にも素晴しい街として継承できるよう、歴史や文化が香る魅力的な街を創造する為、青年部活動の大きな柱として出来る事から実施してまいります。



## 不易流行（心の時代を求めて）

商業卸部会
箕輪　勝朗　部会長

昨年度の政治経済書の出版・販売が、停滞気味だそうです。その背景には激変する政治経済環境に研究者が、模様眺めを強いられているという事実があるそうです。幾重にも交差して、従来の知識や経験では推し測れない状況なのでしょう。「これまで」に代るものが見えない、正に不透明で不信な時代が到来しているのだと思います。

堺屋太一に言わせれば、現在日本は、そして世界は大変革の時代を迎えているのだそうです。我々が今、経験しつつあるのは、日本が近代になってから4回目の変革期ということで、第1回目は幕末から明治維新にかけて、徳川幕藩体制が崩壊し明治官僚体制が形成されたとき。第2回目は第1次世界大戦の後、明治官僚体制から昭和軍官体制に変ったとき。第3回目は第2次世界大戦の後、戦後体制が築かれたとき。そして今、世界の冷戦構造と日本の成長構造が崩壊した後のこの時期が、第4回目の大変革期だと言っています。この変革とは、世界的には「冷戦の時代」から「大競争の時代」へと変ることであり、日本的に見ると「成長の時代」から「成熟の時代」に変質することだそうです。長々と引用して恐縮しますが、正にこのような時代であると認識しております。

いつの時代でも、世の中は変るし、世の中のことはわかりにくく未来は常に不透明です。そして人々は、不安に駆られます。今の世の中がより不安であるのは、あまりにも不確定要素が多く、この先に夢がもてないからでしょう。私がかかわる卸売業にしても、本当に激しい競争の為、存続か廃業か迷っている会社が多いのです。「成熟の時代」の到来とは、規制のない自主制を重んじる社会、即ち激しい競争社会の到来を意味するのでしょう。しかし、過去を振り返ってみても激しい競争があり、それ故に社会の活力は維持されてきたと言えます。今、私達企業家に求められているのは、この激しい変化や競争をあるがままに受け入れ、その中に新しい道をつくりあげていく努力を続けることであると思います。新しい道が何であるかはわからないが、ただ言えることはどの様な時代になっても生きねばならぬことであります。生きるとは、自分と同じように他人を大事にすることです。他人の立場になって考える「お客様の身になって考える心」こそ、新しい道をみつける一つの鍵と言えるのではないでしょうか。

## 課題は独創技術の創造

金属工業部会
鈴木　貞夫　部会長

製造物責任法（PL法）施行に伴う勉強会、情報や意見交換を目的とした企業視察会等を部会事業として実施してまいりました。今年も、製造部門の海外進出に伴う産業の空洞化は進むものと思われます。ある機関が集計・分析した、栃木県の中小企業景況動向によりますと、製造業の問題点の1位は「製品単価の低下・上昇難」、2位「需要停滞」3位「製品ニーズの変化への対応」となっています。

平成8年からの電話の局番3桁の一因は携帯電話の予想を上回る普及によるものであり、自動車事故増加の要因ともなりかねないカーナビゲーションの普及なども、「製品ニーズの変化への対応」の成果と思われます。製造業の課題は、如何に高不可価値の製品を開発するかであり、独創技術の創造が不可欠であります。

次にISO・9000シリーズ規格への対応であります。本規格は各国の規格の整合化をはかるため、1987年3月に品質システムに関する初めての国際規格であり、多くの国の国家規格として採用され、更に同シリーズ規格を基準文書とする「品質システム審査登録制度」が創設されており、今後もこの普及が進むものと思われます。こうした国際的な動向に対して我が国としても的確に対応するため、1991年10月にISO・9000シリーズの翻訳規格であるJIS Z9900シリーズが制定されました。

このような状況でありますので、部会事業としてISO適合事業所見学会を通じ、会員企業の品質向上・システム改善の一助をするほか、前述の製造業の問題点改善に絶えず目をむけながら活動し、タイムリーな情報提供や研修会を実施したいと存じます。

## 経営の効率化推進

食品工業部会
松下　良　部会長

食品業界は従来、不況に強いといわれてきましたが様変わりし、規制緩和、国際化という時代の波がおしよせ、業界・個々の企業に意識改革を促すことになりました。さらに消費低迷は小売価格の低下を招き、価格破壊とまで称されるようになりましたが、円高による内外価格差は輸入食料品の急増につながり、またメーカーの海外進出を活発にさせることにもなりました。

人口の頭打ち、という国内市場にあって健康指向というテーマは、今後の食品業界を方向づけるものと思われます。低脂肪、カルシウム添加、さらには低農薬栽培による食材などは、消費者の支持を得ていくはずであります。目まぐるしく変化する嗜好にそえることは、マーケットラインに欠かせない条件でありますが、本物を求めるという消費者の要望を優先させることが食品企業の使命であるべきでしょう。老舗である羊羹を作る会社が、その高い値段にもかかわらず売上げを伸ばしていくという事実は、いかに自助努力の道が開かれているかを物語っています。しかしながら、食品会社の特性として地場産業を中心とした中小企業の数が多く、また多品種少量生産にて消費者ニーズに対応しているため、経営の効率化をはかるチャンスには恵まれているといえます。

## 再発見事業の早期実行を

商業小売部会
斎藤　高蔵　部会長

現在、商業小売に従事している者には、ここ数年の情況の変化には驚くものがあります。

バブルの崩壊を切っ掛けに、消費の低迷、価格破壊による消費者の物に対する評価は非常に厳しく、価格だけでなく品質やサービスに至るまで価値感が変化してきております。また、規制緩和にともなう大店法の改正により、閉店時間の延刻、休業日数の削減等、一方では、労働時間の短縮などますます中小小売業を取り巻く環境は厳しさの度合を深めてきております。

最近、「街づくり」という事がクローズアップされてきております。市の中心商店街は、空洞化にともなう地盤沈下の状態にあり、それでなくてもバブルの後遺症で街並みが荒れて、後継者難も深刻になっている現在、これらを解決するためには、真剣に取り組まなければならない課題がたくさんあります。

本年度の会議所の事業の一つに、本市の活性化のために「うつのみや再発見事業」が取り上げられ協議を重ねられているところであり、早い段階での実行を期待するものであります。

その他にも、街づくり委員会や、活力ある都市づくり等への行政に対する支援増強についての要望、市制100周年事業の秋の商業祭、夜間景観創生事業などに積極的に参加協力を行い、官民挙げてこれらの事業が成功し、街の活性化の一助となることを願っております。

## 果たせる役割と責務

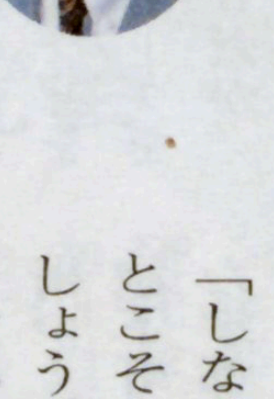
交通運輸部会
鈴木勘次郎　部会長

業界に共通した諸問題の解決や地域を取り巻く交通環境の動向等について情報交換に努めていますが、旅客・貨物運輸業等の公共性事業に加え、車体整備・販売会社で構成され課題も多岐にわたっております。

特に宇都宮都市圏総合都市計画の策定に基づく、本市の将来的な交通軸や新交通システムの導入、駐車場の整備や公共交通の効率化、また広域都市圏による新規交通需要への対応などを当面の課題として研修しております。昨年末には、北関東自動車道の県内区間がいよいよ着手されたほか、新幹線のダイヤ改正に伴って「なすの」が新設され、運行本数が大幅に増加しました。これらの有形無形の経済波及効果は計り知れず、移動時間の短縮や業務展開の拡大など高い関心を寄せている企業も多く、首都圏の機能分散や分権への効果も期待されています。

市制100周年という記念すべき年に中核市の移行が閣議決定し、4月から施行されることになりましたが、この制度を十分に活用して宇都宮の特性を生かした個性豊かで活力のある街づくりが望まれます。情報を的確に把握し、果たせる役割と責務を常に考慮して迅速に対応してまいります。

## 力強い地場産業の創造目指して



建設部会
荒井　祥　部会長

前期に引き続き、今期も当部会を担当することになりました。皆様のご指導とご鞭撻の程を、よろしくお願い申しあげます。

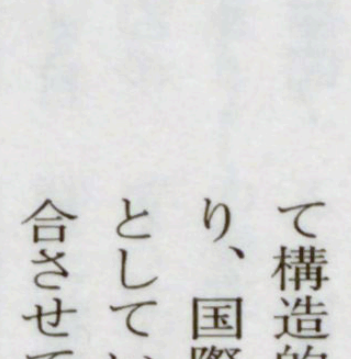
さて、目下、政局の混迷と数々の社会問題、加えて、4年余に及ぶ長期かつ深刻な不況のなかで、経済的にも心理的にも日本全体が閉鎖状態に置かれている、と言っても過言ではありません。人も、モノも、カネも、潤沢でない中小企業にとっては殊更に厳しい。しかし、わが国経済の活力の源は、中小企業にあります。金がなければ知恵を出し、変化に対して、「たくましく」「しなやか」に対応することこそ中小企業の真骨頂でしょう。いつの時代も柔軟な対応を身につけたもののみが、生き残ってきました。この辺で、政府から大胆な内需拡大策、行財政改革、規制の撤廃、首都機能の移転などを含んだ、ニューディールのような思い切った政策が打ち出されることを期待しています。

わが国の建設業は全産業の1割の就業人口を抱え、GNPの2割、80兆円を超える基幹産業として国民生活に不可欠な住宅、社会資本の建設という使命を負っています。近年、建設業をとりまく環境は著しく変化してきています。ちなみに、中央建設業審議会建議に基づく「公共事業の入札契約手続の改善に関する行動計画」に加えて、「建設業法の一部を改正する法律」の施行や、建設産業の将来像を示す「建設産業政策大綱」の策定と行動計画の指針さらに「公共的入札に係る事業者、及び事業団体の活動に関する独占禁止法上の指針」など、行政指導により改革が順次進められています。今後とも「透明性・客観性・競争性」を確保するとともに、「トータルで良いものを安く」提供する努力が各企業に要求されています。建設業は、これらの急激な動きに的確に対応しながら、種々山積している課題の解決に努力していかなければなりません。

市内の9、000事業所を会員としている当会議所のなかで、建設部会は、建設・建材・設計それぞれの企業1、900社の多勢を擁します。部会活動を通じて、大企業と中小企業が城の「石垣」のように組み合い、①異業種や関連業種の交流をはかること、②優れた情報の交換を行うこと、③行政や経済界に必要な提言をすること、④会議所の特性を生かした事業を行うことなど当所ならではの行動をして、活力と魅力あふれる会議所並びに部会活動を目指して努力したいものです。生みの苦しみを伴いますが、この変革の時代を21世紀の新たな発展に向けた経営改革の好機ととらえ、社会に奉仕できる力強い地場産業の創造を目指したいと存じます。そして、地域の振興と会員企業の発展に寄与することで、部会の充実と活性化を進めていきたいと思います。

今年こそ、明るく、楽しく、みんなで元気に行動しましょう。

## 21世紀を見据えた活動を



金融部会
河合　耕吉　部会長

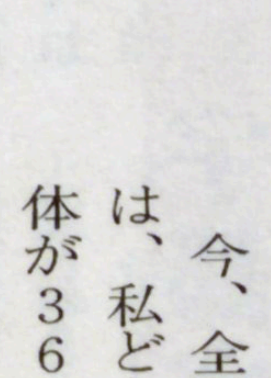
昨年は、戦後50年目という節目の年でありました。この間日本経済は常に右肩あがりの目覚ましい成長・発展を遂げてまいりましたが、支えてきた構造に様々な軋みが生じてきており、その意味では戦後50年にして構造的変革期に入っており、国際社会における一員としていかに国際社会に適合させていくか、問題解決に向かって取り組んでいく必要があります。

日本経済は幾度かの景気テコ入れ対策にもかかわらず、依然として長期低迷が続いており、栃木県内の景気動向をみても、景気回復の遅れから需要減退、競争激化、製品サービス（商品）の引き続き低下傾向等を示し、これが業況の足をひっぱる形となっており、予断を許さない情況であります。

こうした情勢のなかで、経済活動の中心的な役割を果たさなければならない金融機関として、昨今の金融機関に対する信頼低下を一刻も早く取り除き、信頼の確保に努めなければならないと考えています。そして地域経済から金融機関に期待される役割を果たしていくために、旧に倍する努力を傾注していくことが重要な時であると考えます。

宇都宮市も、今年100周年という節目の年を迎えます。未来と思っていた21世紀も目前に迫った今、金融部会といたしましても、地域経済の着実な発展のためにさらに充実した活動を展開し、輝かしい1年にすべく邁進してまいりたいと存じます。

## 未来に明るい材料を



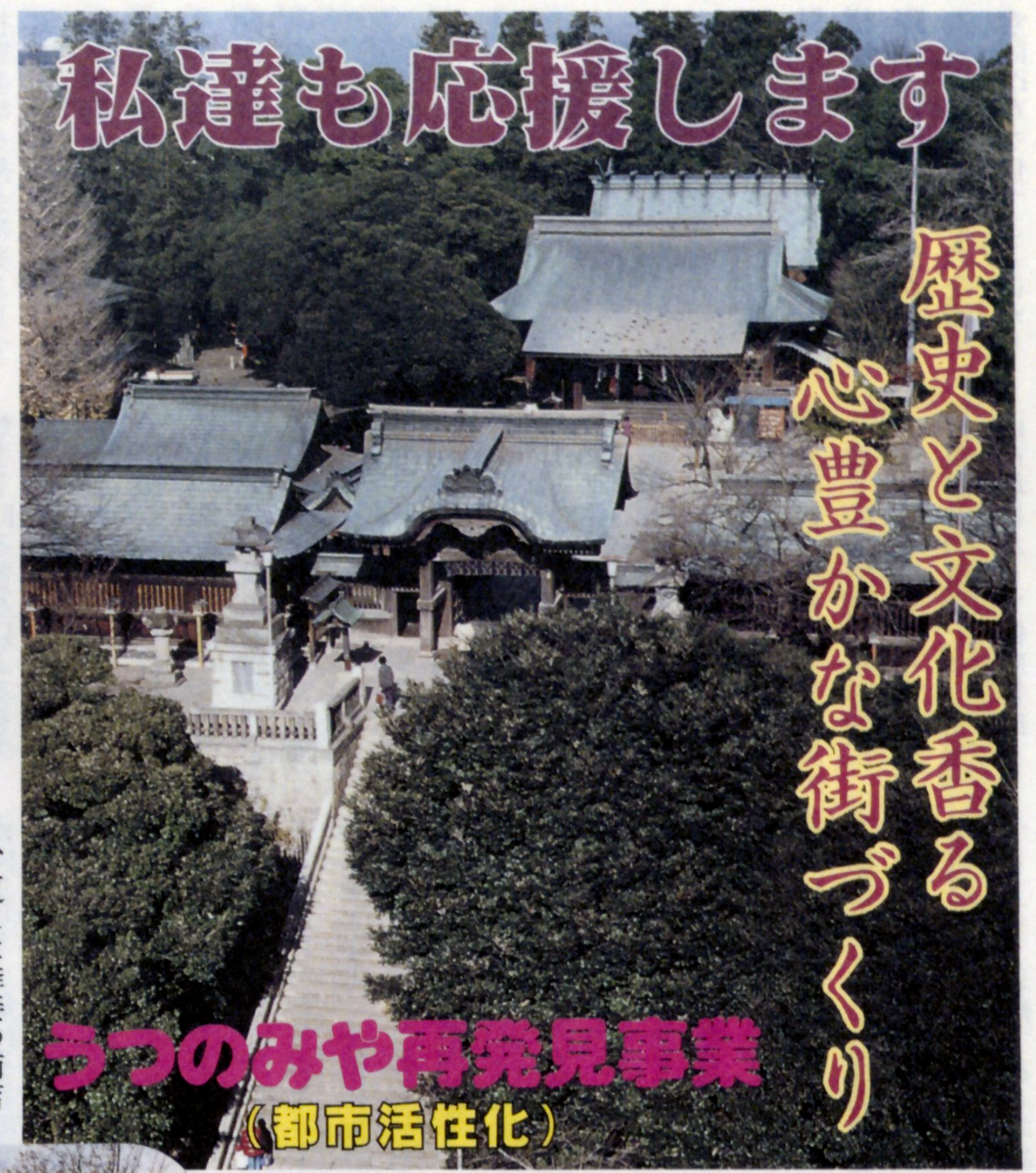
女性部
中村喜久美　会長

創立して満6歳の新年を迎え、いよいよ商工会議所における女性経営者・管理者の交流の輪が広がってまいりました。

今、全国の商工会議所には、私どもと同様の女性団体が366ヵ所設置され、会員数は3万人を数え、各地で様々な事業に取り組んでいます。毎年、全国大会（総会）が開催されており女性の持つ豊かな感性を通して、全国各地の方々との相互交流や情報のネットワークを構築し、女性部活動に新たに刺激を与える実り多い集いとなっています。

私達は、委員会活動を大きな礎として、地域社会に貢献出来るような事業を行っており、特に地域文化の掘り起こしや次の世代の方が安心して生活出来る環境作りも、「女性部」に与えられた使命の一つと考えております。

市制100周年の本年、10月には記念事業である〝日本女性会議'96うつのみや〟が開催されるなど、豊かな社会への実現はじめ、様々な問題を改善、向上を図るものとして大きな期待をいたしております。本年も、会員の皆様とともに経営能力を高めながら、地域の経済振興と希望に燃える社会の発展を願って、努力してまいりたいと思います。



# 私達も応援します

## 歴史と文化香る心豊かな街づくり

うつのみや再発見事業
（都市活性化）

## 個人プレーの誘客商法に終止符を

作新学院高等部
英進部部長 **塙　静夫**

市中心街の空洞化現象がかなり速い速度で進行している。これは何も本市に限ったことではない。だからと言って、適切な措置を講ぜずに放置しておけば、早晩、再起不能に陥り、食物人間のような廃墟の街並みと化すこと必定である。

今こそ、各商店街の方々は、小異を捨てて大同につき、更には隣接の商店街とも手を結び、挙って恒久的な活気ある街づくりに取り組み、個人プレーの大売出し商法を見直し、先ずは市民の台所財政を潤す、安価で良い品物を求めて頂くサービス商法を考えて欲しい。これが定着すれば、口コミによって次第に遠近から客は中心街に向かうであろう。とにかく、各商店街は連帯意識を強め、個人プレーの誘客商法に終止符を打って欲しいものである。

## 宇都宮〝風林火山〟

歴史小説家 **島　遼伍**

いよいよ宇都宮市制100周年の佳き春を迎え、それにともない商工会議所の〝うつのみや再発見事業〟も、水ぬるむ清流の魚のごとく、まばゆい銀鱗をきらめかせんとする時節を迎えた。ユリウス・カエサルではないが、賽はなげられたのだ。

そこで会議所並びに関係者の方々に、孫子の〝風林火山〟の言葉を贈りたい。

情報・市井の声は風よりもはやく得、企画・計画には林のごとく綿密と静寂をもとめ、実行・運営には烈火にまさる情熱と速攻性をかたむけ、反響・批評には山のごとき泰然とした姿で耳をすまし、宇都宮市の更なる発展を模索するための道標とする。

新春にあたり、関係各位と会員の方々に幸おおきことを祈りあげます。

## 歴史・文化・特産等が集約したスポットを！

㈱栃木リビング新聞社
編集長 **高橋慶子**

宇都宮は流入人口が多く、移り住んでまだ間もないという人も多くいます。

そういう私も、そのひとり。丸5年が過ぎ、この地で一生暮らすと思えば、ぜひともこの地に誇りと愛着を持って生活したいと切に願うひとりです。

でも悲しいことに、今の宇都宮にはこれといった特徴が見えません。それは一見して、歴史・文化・郷土品・お土産品にもいえそうで、読者からも同様の意見が寄せられます。まして今の街には、宇都宮のこれらを、物を一堂に会して見て楽しめる所がありません。他県から訪れたお客様をどこに案内したら〝うつのみや〟を知ってもらえるのかと迷います。先ずはぜひとも分散型ではなく、集約型スポットを！。

再発見事業に、多大な期待をしているひとりです。

## 夢ある街へ市民が主役の街づくり

㈱新潮プレス（タウン誌もんみや）
代表取締役社長 **橋本茂夫**

「物」から「心」へという時代背景の中、全国各地で地域独特の街づくりが展開されている。いわゆる地域間隔差が薄れてきた環境で、いかに個性ある、人にやさしい街を創りあげていくかが、街づくりの重要な要素にもなっている。

ひと口に〝個性〟と言ってもなかなか難しい問題ではあるが、個性を創り出すには、まず私たちの街がどんな街かを知らなければならない。「故郷を愛することは、故郷を知ることから始まる」ということだ。まさに〝この街再発見〟である。過去を現在に生かし、未来に伝えていくことこそ個性ある街づくりの原点ではなかろうか。

そして、その発見こそ市民一人一人の参加性、つまり私たちが主役になることを忘れてはいけない。自分の目で、耳で確かめ、感動し、問題意識を持つということだ。何かをしてもらうのではなく、どんな小さなことでもよい、私たちにできることは何なのかを発見することも、街の活性化には不可欠である。

今年は宇都宮市制100周年という〝夢あるまちへ〟の第一歩の年でもある。と同時に、私たち市民一人一人が自ら夢を築きあげる出発の年でもあることを忘れないでおきたい。

## 北関東圏最大の都市　宇都宮 高質な中心街まちづくりを目ざして

マーケティングコンサルタント
中心商業地活性化研究会コーディネータ
**伊藤玲子**

1996年は戦後何年ではなく、21世紀に向けての第1ステップのはじまり。

歴史を伝承しつつ、新しい価値性とは何かを検討しながら、中心街活性化作業がスタートしている。

官民市民が一体となって「誇れる街」、「賑わいのある美しい街づくり」を目ざす時代になった。

右上り経済に頼った考え方、大型店占拠による商業から、それぞれの役割をきちんと設定した、全く新しい街づくり推進力が求められている。それは「活性化」というより、「都市像の再構築」であり、「21世紀に向けての街の修復、再生」であり、地域の生活を支える「都市機能の創造」である。

うつのみや
推進
協議会
再発見事業

## 市民参加の街づくり

うつのみや再発見事業推進協議会委員
常議員 **柿沼　賢**
（㈱雅洞代表取締役）

宇都宮市は本年市制100周年を迎え、その節目の時にあたり多彩な記念事業が企画されている。

先頃「人の視点に立ち、歩くのが楽しくなる道づくり」という事業テーマが発表された。対象区域は「宇都宮の歴史軸」と考えられる二荒山神社から御本丸公園（城址公園）周辺までの歩道で、電線類を地中化して石畳とし、街灯類もアンティークなものに変えるという。路地には城下町らしい呼び名を付け、旧町名の復活や文化財などの案内板を設けたりする。地元住民の協力があれば、瓦屋根の土塀なども復活させる計画がある。近年こうした取り組みは都市・町村を問わず、様々な所で行われるようになった。そしてその際、改革の大きな柱となるのは、大抵景観の美化・統一であった。本市の今回の事業のねらいも、かつての城下町の景観と情緒を少しでも取り戻すこと、である。前述の市の計画が進めば、町の様相は随分かわるだろう。

しかし、このような整備は慎重に行われなければならない。町の景観の改善はいき過ぎると、人々の暮らしにそぐわず、市民にとっても街がよそよそしいものになってしまうおそれがあるからだ。最近観光地で改善された筈の街が、人々の生活とちぐはぐに見えて、その魅力を半減させている様に感じさせられる所があった。本当の市民の暮らしが、におわないのである。街に愛着を持って暮らしている、という実感が伝わってこなければ、街の魅力は生まれて来ないと思う。人の視点に立った歩いて楽しい道づくりも、宇都宮市民の暮らしが自然にとけ込んでいるものでなければいけない。

今回、市は休憩用のベンチ・水飲み場・花壇などを備えて、ポケットパークを造る計画があるようだが、そこに市民の文化や芸術が育つような環境を造ってゆくことも大切だと思う。例えば風化防止剤の普及によって耐久性を増した大谷石を使用して、一般市民から彫刻を募集し道沿いに設置すれば、宇都宮の特性が活かされた個性ある道が出来るかも知れない。ポケットパーク等も市民のイベントの場として利用することによって、そこには人々の出会いや語らいの場になって行く。市民が歩いていて楽しくなるような道は、市民と街とのかかわりの中から造られて行くものである。至極当然のことであるが、ともすると忘れがちになる「人の視点に立って」という立場をくずさないように街づくりがなされてゆき、城下町の景観と情緒を持った宇都宮市が、市民の手によって独自の文化が造られる日が、近い将来にやって来ることを期待して止まない。

**ユニフォーム**の企画・販売

UNIFORM&FASHON
株式会社 タカヤ商事

オフィスユニホーム・ブレザー・ワーキング
オリジナルユニホーム・イベント用トレーナー
Tシャツ・半天・ホテル・レストランサービスウェアー
調理・病院・学校・食品工業白衣・各種
多少にかかわらずお気軽にご相談下さい。

宇都宮市岩曽町1377—82　FAX 662-0813
☎662-0812㈹

「こんな時、お役に立ちます」

NTTテレマーケティングおすすめ

あなたの会社でこのようなことはございませんか？

会社の方針
- お客様の声を聞きたい。
- 受注体制を強化したい。
- お客様の販促を強化したい。
- 効果的な広告宣伝をしたい。
- 新規開拓をしたい。

しかし

お困りでは
- 人手が足りない。
- 販路拡大ができない。
- 電話設備が足りない。
- DMの効果が低い。
- データベースができない。

テレマーケティングでこのような効果がえられます。

- 広告、DM等と電話を組合わせるとレポンス率が高くなります。

| チラシ | D　M | 電　話 | DM+電話 |
|---|---|---|---|
| 0.2% | 12% | 7～10% | 20～30% |

- アポイントを取り、セールスマンの効果的訪問ができます。
- 顧客サービスの改善、商圏拡大、コスト削減等が図れます。

お問い合わせは
NTTテレマーケティング株式会社
栃木支店
〒320 宇都宮市昭和1-2-18
TEL (028) 627-3899
フリーダイヤル 0120-138138

---

## 新たな都市型観光を目指して

宇都宮市商工部　部長 **須藤　脩**

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申しあげますと同時に、一日も早く景気が回復し、経済活動が活発になりますよう念願するものでございます。

さて、商工会議所におかれましては、現在、「うつのみや再発見事業」に取り組んでおられますが、これは、宇都宮の歴史や資源を再発見して商業や観光の面での活性化を進めようとするもので、誠に時宜をえた意義ある事業でありまちづくりを進める上で、大変心強く思っております。

これまでは、商業は商業、観光は観光とそれぞれに様々な事業を通して振興を図ってきましたが、これからは、これらを総合的、有機的に結びつけ相互に関連をもたせながら進めていくことが必要であると思います。

宇都宮市におきましては、本年の市制100周年の記念事業として美術館や農林公園など新しい施設の建設を進めておりますが、「見る、食べる、遊ぶ」の観光的機能も備えておりますので、再発見事業で取り上げる歴史や文化面との結びつきを図ることにより、都市型観光の目玉づくりにもなるものと考えております。

いずれにいたしましても、宇都宮にはまだまだたくさんの資源や素材がありますので、これらを活かし結びつけながら、特色のある都市型観光づくりを進めていくことが必要であり、また、そういう時期に来ているのではないでしょうか。

市制100周年という節目の年に再発見事業が取り上げられたのも、こういった気運の盛り上がりと受けとめ、賑わいと活気のあるそして文化の息づく活力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申しあげます。

## 商業振興施策と活性化で意見交換

### 中心部商店街役員が藤井会頭と懇談

当所は、市中心部商店街役員と当所藤井会頭との懇談会を、12月12日ホテル丸治において開催した。

同「懇談会」は、駐車場不足や空洞化などで活力が低下する中心商業地の現状について意見交換、商業振興について共通の認識を得るため実施したもので、藤井会頭は「沈滞する中心部を建て直すための方策について共に考えたいので、忌憚のない意見をいただきたい」と挨拶。

懇談会では、情報の共有化や中心部全体の統一的対応、駐車場難や交通緩和、商業と都市観光を合わせた街づくり、などについて意見を交した。

この懇談会は今後も定期的に開き、中心商業地の活性化施策等に生かしていく。

## 第4回 中心商業地活性化研究会

### 都市活性化における情報化で研究

宇都宮中心商業地活性化研究会（第4回）が、11月28日当所会議室で開催された。

今回は、アドバイザーの山田義治氏から、様々な場面における情報の受発信や、情報化の意味とねらい等について、具体例を基に問題提起され、討論した。

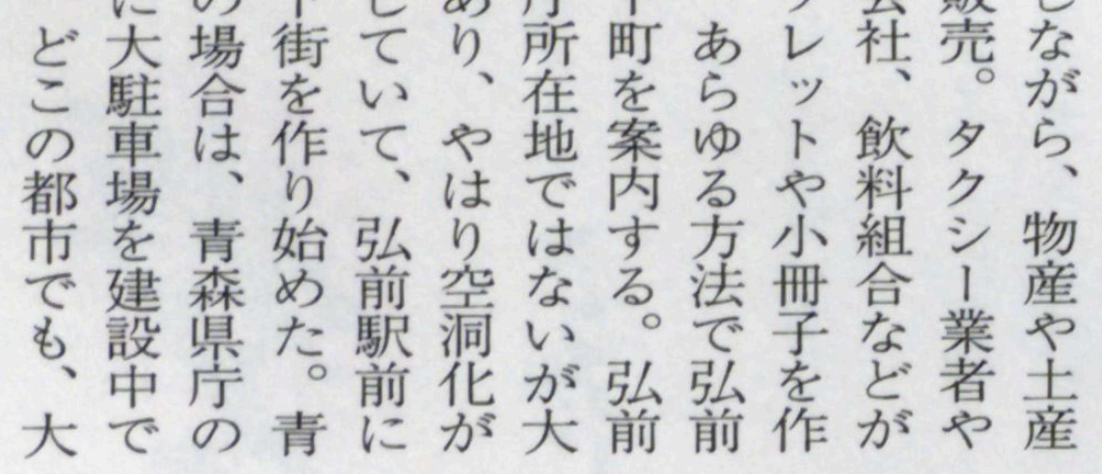
また、コーディネーターの伊藤玲子氏は、商業空間の情報化について、街並みや店舗・公共施設など、他の例をモデルに講義した。

## 当所議員の職務執行者変更

柴田建設㈱
新　代表取締役社長　柴田　恒男
旧　　　　　　　　　柴田　智男

# 杜の宮・うつのみや・今こそ宇都宮ルネッサンス

うつのみや再発見シンポジウム No.2



### 基調講演

## うつのみやの歴史から街づくりを考える

講師／作新学院高等部英進部部長 **塙　静夫**

歴史館の考えもあるようだが、市民の生命も大切であるから防災避難場所としての広場も必要だ。市民なくして街づくりはないので、平地面にもどし広場として活かす。石川県の金沢城の例もあるように、門は一つで良い。金沢城という立派な全体像の中で、多くの観光客が写真をとっている見どころの一つは、石川門だけである。宇都宮の御本丸は、市教育文化課と私どもが商工会議所が考えているものに近い物として、歴史性を最大限に生かした御本丸公園になるよう働きかけていこうと思う。

しかしながら、歴史館的なものはこれだけの宇都宮の城下町であるから必要だ。御本丸の近くか、御橋の近く、そこに商工会議所直営のいわゆる物産会館の一部に歴史館的なものをその中に含める。先頃、弘前・青森・八戸の文化財関係の人達との会合があり、弘前城を見てきた。帰りに大手門を出た所に弘前物産館が目に付き、立ち寄ってみると宇都宮商工会議所の雷都物語と同様に、周辺地域のあらゆる物産のコーナーや市内見物の資料が沢山用意されてあった。歴史的な物を展示しながら、物産や土産物を販売。タクシー業者やバス会社、飲料組合などがパンフレットや小冊子を作成し、あらゆる方法で弘前の城下町を案内する。弘前は県庁所在地ではないが大学があり、やはり空洞化が進行していて、弘前駅前に大地下街を作り始めた。青森市の場合は、青森県庁の近くに大駐車場を建設中である。どこの都市でも、大変な都市作り、新しい街づくりに取りかかっている。

そこで、宇都宮の駅から池上・伝馬町への大通り。大通りをフラフラと歩いてみると、一番大切な大通りに銀行とか金融機関の建物が林立し、午後3時頃になるとシャッターが降り人の往来はなくなる。日曜・休日は駐車場として開放している所もあるが、とにかく寂しい。

平成7年に全く新しい宮の橋が完成、歩道の部分があの余裕のある橋になったことは大変良い事だ。昨年の夏に釧路に行った時、シンボルである旧釧路川にかかる幣舞橋には女性のブロンズ像4体があり、これを背景に写真をとっている観光客が非常に多かった。宮の橋は誰が命名したかわからないが、非常に良い名前で、これから旧市内に入るその入口の橋。同時に神社を参拝するための、いわゆる「宮」に来た最初の橋である。何かこれをイメージして、ガス燈や写真・絵になるものを工夫し宮の欄干に設ける。宇都宮を訪ねた物が足を止め、写真を撮る。それから中心街に人を向ける。こうしたことも、新しい街づくりにつながることだと思う。

仲見世街は、昭和34年にいかにも新しい街づくりという美名によって取り壊されてしまった。門前町としての良さを活かすとすれば仲見世街を復活、あるいは宮の市をそこで行う。

日野町通りは浦生秀行が東勝寺跡地に日野商人を居住させて生まれたもので、ここをアーケード街にする。また、江戸時代に宇都宮城下の人達に親しまれたおよりの鐘は、宝蔵寺に納まっていて元に戻して欲しいということは困難だが、宇都宮氏の菩提寺であった東勝寺にあったもの。仲見世があり、はるか望めば太鼓橋がある。日野町の入口か交番の近くに櫓を組んでそこに戻し、夕刻6時頃に鐘を打つ、という事であればいかにも城下町である雰囲気と、神社と御本丸を結ぶ軸の中の一つの重みが出来はしないか、と考えた。

宇都宮は、城下町・門前町さらに宿場町としての要素があったので、旧町名・古い町名にはそれぞれ由緒がある。市の教育委員会でも考えているようだが、商工会議所も良く連携をとり親しみやすい表示板・サインを作る。市街地に多くの人が足を止めるような魅力のある案内板に、少し説明を加えると良い。

次も持論だが、宇都宮の商店街はどうも自分の店だけは…、という意識が強い。宇都宮城下町として発展した町全体の共同体としてのものを考えれば、自分の店が繁盛するのも結構だが、宇都宮全体の街並みが活気がなければ個々の店もダメになってしまう。ですから更なる誘客を図るため、市内の史跡や町名由来・伝説民話・祭礼などを簡単に紹介した、葉書大か短冊形栞状のもの（写真・案内略図・バス停入り）を各種用意し買物客に提供する。商店街の人達がこぞって協力しなければならない。買物の帰りに、そのカードを片手にして散策していただければ大成功である。

街づくりの問題として、二荒山神社の御祭り。

宇都宮の顔は、二荒山神社の様々な祭りである。夜渡祭ほか、も一度見直しをし各市民に協力を求めることも必要だ。

それから、あまり関心しないが餃子。どこかの一角に餃子街、ラーメン横丁的なものを設ける。あるいは屋台的な物を再現する。昼の顔と日が暮れてからの夜の顔を持ちながら、全体的には神社の祭りを年間の大きな目玉として据える。

新しい街づくり、そして魅力ある宇都宮、そこに多くの人達を引き付けるものはいくらでもある。金をかけないで出来る事もあるし、多少犠牲になっても宇都宮の活性化・空洞化を阻止するという事であれば、多少の犠牲・負担を市民にかけても仕方ない。県庁を造る時に三島通庸が、それぞれの商店主に大変な寄付行為を求めた。その当時だから出来た事かもしれないが、多少の犠牲は払ってもらう。それは未来の為、という事だろうと思う。青年部も、出来る事から実施する。その場合に、宇都宮は他の県庁所在地には見られない歴史性がある。その建物こそ多くは残っていないが、非常に重厚な歴史がある。これを新しい街づくりに、うまく活かしていけたら良いと思う。

……◇……◇……

〔10月19日二荒山会館で開催した「うつのみや再発見シンポジウム」の模様を、シリーズで掲載。〕

社員にヤル気を　職場に活力を!!

社員教育　毎月御社を訪問して行ないます

個人カウンセリング
社員の悩みを早期解決します

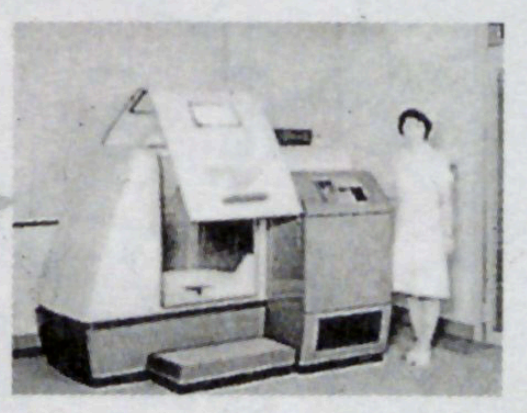
管理者・新人教育
フリートーキング方式で行います

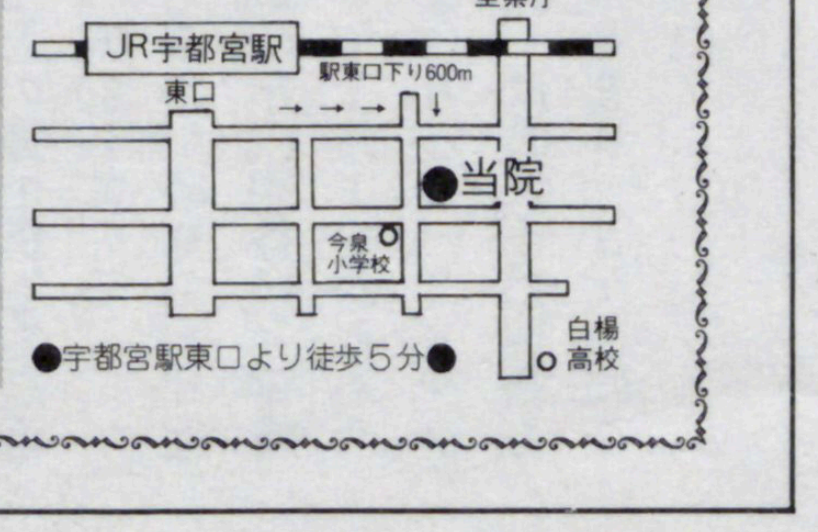
女性社員マナー研修
電話の受け方から接客態度まで

TQCサークル導入・推進
インストラクターを派遣します

☆その他職場の状況に応じて最高のスタッフが
親切、丁寧、きめ細かに御指導いたします。

高野企業経営研究所
宇都宮市松原2—5—21　栃木県木材会館3F（東電前）
☎028 (621) 5653





年に一度は人間ドック

癌など 1（悪性腫瘍）
心臓病など 2（循環器障害）
脳卒中など 3（脳血管障害）

最先端テクノロジーで正確な診断を！

完全予約制　Tel.028-634-2100

■実施日■　月曜日～土曜日の午前7時30分より正午迄。　但し、祝日は除きます。（終了時間が多少遅れる場合があります）

医療法人社団竹山会
青木医院
〒321 宇都宮市元今泉1-3-11　Tel.028-634-2100

●診療時間●
9:00～12:00
1:30～ 6:00
（木曜のみ5:30迄）
●休診日●
日曜日・祝日

# 夢あるまちへ　宇都宮100年

## きみにつたえたい　自然を　文化を　未来を

100 1996年 市制100周年 UTSUNOMIYA

宇都宮市制100周年を、皆様と共に心からお祝い申しあげます。

市制100周年記念事業は、「夢あるまちへ　宇都宮100年」のテーマを基本に、次代の担い手である子供達に自然・文化・未来、そしてそこから広がる夢を引き継げるよう展開されます。

### 夢あるイベントがいっぱい

**◆記念施設**

①（うつのみや平成記念）子供のもり公園
②宇都宮美術館
③宇都宮市農林公園（ろまんちっく村）
④御本丸公園
⑤鬼怒川緑地運動公園

**★記念式典関連事業**

●開幕式　４月１日
●記念式典　５月19日
●祝賀パレード
●閉幕式（フィナーレ）平成９年２月又は３月

**★記念出版・映像事業**

●まんがでみる「宇都宮の歴史」
●写真でみる「宇都宮の歴史」
●映像でみる「宇都宮の歴史」

**★新規イベント**

●地域イベント

市内の37地区連合自治会が、地域の創意工夫で個性豊かなイベントを展開。

●夢のメッセージ

市民達が大切な人に夢を託して書いたメッセージはがきを、21世紀の幕開けの日（２００１年１月１日）に配達。募集は５月～９月。

●リレーシンポジウム

将来にわたる宇都宮の役割や宇都宮らしさの方向性を見出し、成果を「宇都宮宣言」として閉幕式で発表。会場は、文化会館。５月・８月・平成９年２月を予定。

●百人一首フェスティバル

百人一首の誕生と深い関わりのある宇都宮をアピールし、複数の記念イベントを開催。11月を予定。

●うつのみやの「あゆみ展」

宇都宮の発展の歴史、市民生活の変遷等を写真や展示品で振り返る。会場はマロニエプラザほか、５月から。

**★誘致イベント**

●ワールドカップサイクルロードレース

「サイクルシティー宇都宮」へ、世界トップレベルのプロ200名が参集。会場は森林公園周辺周回コース。秋に開催。

●日本女性会議'96うつのみや

男女がともに持てる能力を出し合い、生き生きと生活できる社会を目指し、語り合い考える。10月に開催、会場は文化会館など。

●全日本合唱コンクール全国大会　文化会館で11月。

**★モニュメント設置事業**

次代への飛躍を誓い、本市の街づくりのシンボルとして制作。完成は、秋頃。

※フェスタmy宇都宮や、ふるさと宮まつりなど、既存のイベントも内容の充実を図り、市制100周年を記念して開催。

---

# NZマヌカウ市訪問団員を募集

諸般の事情により日延べをいたしましたNZマヌカウ市への訪問団派遣について、友好親善を図る観点からマヌカウ市長を表敬訪問するほか、現地経済界との懇談会を開催することで日程を決め、改めて参加者を募集することにいたしました。

企業経営の新たなる展開のご参考に、多数ご参加賜りますようご案内申しあげます。

**視察期間**　平成８年２月22日㈭～２月27日㈫を予定しております。
**募集定員**　30名
**概算費用**　30万円
**★申込**　参加希望の方は、申込書を送付しますので当所企画課へご連絡ください。
☎637－3131

---

# バンバの仲見世再現

フリーマーケット GOOD
バンバ GOODマーケット

## 名所復活に　商業振興や活性化期待

バンバ通り商店街（斎藤公則会長）は、12月17日に二荒神社前で百貨店や加盟商店など、約20店によるフリーマーケット「宇都宮バンバＧＯＯＤマーケット」を開催した。

宇都宮市の中心商業地は二荒山神社の門前町として、城下町として繁栄し弘安６年（１２８３年）に城主・宇都宮景綱が発布した分国法「公安式条」には、当時としては全国にも珍しい「市」の運営取り決めが明記され、活発な商業活動が窺い知れている。

歴史を継承するバンバ通り商店街は、県内一の繁華街として最も賑わいを見せていた。なかでも『バンバの仲見世』は、時に親しまれた場所。しかし最近は、交通渋滞や駐車場難に加え商業集積の郊外への分散傾向が顕著で、買い物客が中心商業地に定着しなくなってきており、テナントビルの空室も目立ってきている。

バンバ通り商店街は、このような空洞化現象を背景に、歳末セールとして同神社前で行っていた抽選機による福引セールを、番号による宝くじ方式に変更したほか、歳末セール（12月16～24日）期間中にフリーマーケットを開いた。

同商店街の渡辺政光さん（菊秀刃物店社長）は「バンバは、二荒山神社と共に栄えてきた。神社前のフリーマーケットを昔の仲見世に見立て、当時の賑わいを復活することができたと思う。中心部商店街の活性化めざし、定期的に実施したい」と殺到する宮っ子達を応待しながら、元気印で意欲を語っていた。

---

# 市制100周年記念イメージソング
# 立ち止まらないで　いつものように

作詩　二紀京二
作曲　黒尾朋子
補作　イメージソング制作委員会
編曲　鈴木和郎
歌　島田歌穂

①
やわらかな　朝の太陽に　包まれて
この街に　生まれた幸せ
降りそそぐ　四季の恵みを
未知なあなたに　贈りたい
自然と会話して　素敵な出逢い
ときめきと　あこがれを　語ろうよ
かがやいて　宇都宮　若い息吹を
立ち止まらないで　いつものように

②
爽やかな　樹々の緑に　包まれて
この街に　生きる幸せ
展けゆく　このふるさとを
あなたと二人で　歩きたい
ロマンチックな　プロムナード
やさしさと　微笑みを　交そうよ
かがやいて　宇都宮　はばたく夢を
立ち止まらないで　いつものように

③
夕映えの　きらめく星に　包まれて
この街に　暮らす幸せ
高らかに　希望の鐘を
みんなのこころに　鳴らしたい
こころふくらむ　誇りをこめて
愛しさと　歓びを　歌おうよ
かがやいて　宇都宮　未来への時代を
立ち止まらないで　いつものように

※イメージソングＣＤは、市庁舎地下１階の生協売店で販売（700円）しています。

---

# 話題沸騰！青源味噌の新製品

# 特製　みそスープが決めて　ピリット辛口水餃子

宇都宮
雷都物語
ピリッと辛口！ 水餃子
らいと ものがたり

みそをつけるのがミソ
ハンドクリーム　おかあさんの手

寛永２年米穀商として創業した「青源味噌」が、またまた新商品を発表して話題を集めている。

食べ方は人それぞれだが小皿に酢醤油とラー油を溶いて、全部どんぶりに入れて食べる水餃子。ドバッといれるタレ味を味噌味でと試行錯誤の末に完成したのが「雷都物語ブランドの水餃子」で、ピリット辛口で〝酸味〟のきいた特製味噌スープで味わうものだが、既に取り扱い店では売切が続出している。

○１箱３人前　１千円

当所の異業種交流会「みやみらい21」に参加して、メンバーの日本サーファクタント工業と協力、研究開発して完成したのが、ハンドクリーム「おかあさんの手」。味噌づくりが手作業だった時代に、冬でも手荒れしなかったことがヒントになった。減塩白味噌から抽出した油脂分やでんぷん質のほか、食品添加物として認められている植物性の原料だけを使用している。

〝かあさんのあかぎれ痛い、なまミィーソすぅりこむぅ〟、商品名に歌を地でいくハンドクリームの期待を込めて昨年11月から発売し、「自然で、安全で、使用感が良い」と好評。

○50ｇ　１千円

---

# うつのみや　新名産品
# 雷都物語
## 新参加者を募集

珠玉の名産品の数々を生みだしてきた「宇都宮雷都物語」に、あなたも参加しませんか。

美味しさのニューウェイブが勢揃いして、多士彩々のイベントを実施し、宇都宮に誕生したふるさとの味をご賞味いただいております。第４弾、第５弾…と宇都宮の名産品の開発・発見・育成を続けます。

**審査会**　平成８年２月
**申込**　平成８年１月末日迄に参加ご希望の方は「雷都物語事業本部」（当所工業課内）☎637－３１３１へ

---

# NTT

## あたまに６がつく３ケタ新市内局番　平成８年１月１日スタート！

平成８年１月１日から
あたまに６がついて３ケタ新市内局番

日々発展を続ける街とともに、電話やポケットベルやファックスなどの通信機器も急激に増加している。

このため０２８６地域の市内局番は、平成８年１月１日からあたまに６がついて３ケタに、同時に市外局番も「０２８」３ケタになった。